

[3月外来医師一覧表]

新/新規患者 再/再来患者

<https://sk-kumamoto.jp/>

診療科		月	火	水	木	金	
整形外科(要予約)	新	安藤 卓(第1・2・3・4週) 有村 仁志(第5週)	立石 慶和	大野 貴史(第1・3・5週) 有村 仁志(第2・4週)	上川 将史	平井 奉博	
	再	安樂 喜久	上川 将史(第1・3・5週) 平井 奉博(第2・4週)	安藤 卓(第2・4・5週) 有村 仁志(第1・3週)	後生川 輝(第1・3・5週) 内田 裕己(第2・4週)	立石 慶和(第1・3・5週) 大野 貴史(第2・4週)	
腎臓科	新・再	—	AM:三浦 玲 PM:山村 遼介	江口 剛人	板井 陽平	早田 学	
【透析シャント専門外来】	新・再	副島 一晃	—	—	—	—	
ロボット 専門外来	前立腺・腎	新・再	渡邊 紳一郎	福井 秀幸	占部 裕巳	三上 洋 渡邊 紳一郎(第2週)	富永 成一郎
	呼吸器外科	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	—	—
	総合腫瘍科	新・再	坂本 快郎	—	高橋 英徳	—	田中 秀幸
	心臓血管外科	新・再	—	—	—	押富 隆	—
泌尿器科(要予約)	新・再	渡邊 紳一郎 尾崎 陽二郎(第1・3・5週) 大井田 奈穂(第2・4週)	福井 秀幸	占部 裕巳	三上 洋	富永 成一郎	
【がん薬物療法】	新・再	—	—	—	—	福井 秀幸 町田 二郎(第2・4週)	
心臓血管外科	新・再	—	上杉 英之	出田 一郎	押富 隆	佐々 利明(第1・3・5週) 高志 賢太郎(第2・4週)	
【下肢静脈瘤専門外来】	新	担当医(第1・3・5週)	—	—	—	—	
	—	2022年1月～3月は休診いたします					
循環器内科	新・再	担当医(第2・4週) 坂本 知浩 劔 卓夫 井上 雅之 根岸 耕大	田中 靖章 奥村 謙 由布 哲夫 市丸 直美	兒玉 和久 岡松 秀治 堀尾 英治 山田 雅大	山室 恵 奥村 謙 吉村 あきの 神波 裕	田口 英詞 古山 准二郎 鈴木 寛人 堀端 洋子	
【デバイス/遠隔モニタリング外来】	再	—	—	—	担当医	—	
【LVAD外来】	再	—	—	兒玉 和久(第2週) 岡松 秀治(第4週)	—	—	
呼吸器外科	新・再	吉岡 正一	岩谷 和法	—	隈元 清仁	—	
呼吸器内科 <small>※全医師が「COPD専門診療」に 対応しております</small>	新・再	一門 和哉 関戸 祐子 阿南 圭祐	保田 祐子 神宮 直樹 西山 健太	一門 和哉 村中 裕之(第1・3・5週) 飯尾 美和(第2・4週) 中村 和憲	保田 祐子 川村 宏大	坂田 能彦 仁田 辰哉 久永 純平	
【がん薬物療法】	新・再	坂田 能彦	坂田 能彦	川村 宏大 坂田 能彦(第1・3・5週) 神宮 直樹(第2・4週)	神宮 直樹	—	
糖尿病内科	新・再	松尾 靖人	星乃 明彦	松尾 靖人	星乃 明彦	星乃 明彦(第1・3・5週)	
脳神経外科 <small>※全医師が「未破裂脳動脈瘤 専門診療」に対応しております</small>	新・再	天達 俊博	山城 重雄	山村 理仁	上田 隆太	加治 正知	
脳神経内科	新・再	稲富 雄一郎	米原 敏郎	長尾 洋一郎	永沼 雅基	米原 敏郎	
外科	新・再	藏元 一崇	松本 克孝 稲尾 瞳子	高森 啓史 辛島 龍一	富安 真二郎 伊東山 瑠美	新田 英利	
消化器内科(要予約)	新・再	工藤 康一 古川 歩生 吉田 健一	山邊 聡 近澤 秀人 上原 正義	須古 信一郎 上川 健太郎 AM:前田 大樹 PM:江口 洋之	浦田 淳資 近澤 秀人 糸島 尚	上原 正義 後藤 健太 今村 治男	
総合腫瘍科	がん薬物療法	新・再	小田 尚伸 森北 辰馬 高橋 英徳	小田 尚伸 森北 辰馬	小田 尚伸 森北 辰馬	森北 辰馬 坂本 快郎	小田 尚伸 森北 辰馬
	放射線治療	—	松山 圭矢(新患)	松山 圭矢(再診)	松山 圭矢(新患)	松山 圭矢(再診)	松山 圭矢(新患)
	ガンマナイフ	新・再	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明	後藤 智明
	がんゲム外来	新・再	—	—	—	小田 尚伸	—
	遺伝カウンセリング	新・再	—	佐々木 瑠美	—	—	—
	緩和ケア外来	新・再	金光 敬一郎	—	金光 敬一郎	金光 敬一郎	—
	精神腫瘍外来 総合腫瘍外来	新・再	窪 文彦 坂本 快郎	窪 文彦 —	— 高橋 英徳	窪 文彦 —	窪 文彦 田中 秀幸

※担当医師は月により変更することがあります。ご了承ください。

[サイクル]

済生会熊本病院 連携広報誌

vol.67

2022.February

saikuru

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

ロボット支援手術



症例達成



ロボット支援手術 2000 症例達成

※2021年12月1日時点

このたび、2021年12月の症例をもって、ロボット手術が通算2000例を達成いたしました。これもひとえに先生方のご指導とお力添えの賜物と感謝申し上げます。

ロボット・低侵襲手術センターは、患者さんに、より侵襲が少なく高いレベルの診療を受けていただくことを目指して、診療科や臓器の垣根を越えた技術向上に努めております。

学会認定のプロクター（手術指導医）も7名在籍しておりますので、患者さんに安心して治療を受けていただける体制となっております。

お悩みの症例がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。



ロボットとともに歩んで9年～
手術成績の向上を実感しています

渡邊 紳一郎 | 泌尿器科部長 兼 ロボット低侵襲手術センター長

当院のロボット手術は、2013年に泌尿器科で前立腺がんに対する前立腺全摘術から開始し、その後呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科に適応を拡大しました。これらの診療科が集まってロボット・低侵襲手術センターを立ち上げ、2021年12月にロボット手術2000例を達成しました。

ロボット手術は、3Dカメラで拡大された鮮明で奥行きのある画像を見ながら、人間の手首と同等以上の可動域を持った鉗子を使用し、手ぶれ補正機能や動かした手の幅を縮小して伝える機能により、精密かつ正確な操作が可能です。

たとえば前立腺全摘術におきまして、開腹手術300例、通常の腹腔鏡手術350例、ロボット手術1400例を経験しましたが、ロボット手術では術中出血が50mlと最も少なく、入院日数が7日となり、術後尿失禁が最も減少しました。

今後も手術成績の向上に努めてまいります。

ロボット手術こそ
「究極の低侵襲手術」

吉岡 正一 | 副院長 兼 呼吸器外科上席部長 兼 外来運営部長

ロボット手術の利点は何ですか？とよく聞かれます。色々ありますが、攻めたいと思う部分にピンポイントで最適の角度で攻める手術操作ができるということが一番です。

例えば悪いですが、洗車をする場合、あらゆる位置から洗車ブラシをかけられるのがロボット手術としますと、通常の内視鏡手術は、車の右側に立って左側を洗うようなものです。

肺癌手術において、気管支周囲リンパを、360度あらゆる方向から切開して摘出できるのがロボット手術であり、ある方向からしか切開できないのが通常の内視鏡手術です。しかも、ロボットアームの手ぶれはゼロです。

摘出すべき組織を確実に摘出し、気管支動脈等の残すべき組織は確実に残す、といった緻密で、低侵襲な手術を患者さんに提供できます。外科手術のほとんどが今後ロボット手術に置き換わっていくと思っています。

地域の皆様に、今後も良質な手術を提供してまいります。

疾患別症例数
since 2013

前立腺がん
1,376 症例
2013.03-2022.01

腎がん
243 症例
2016.06-2022.01

腎盂
3 症例
2020.11-2022.01

膀胱がん
18 症例
2021.01-2022.01

肺がん
164 症例
2018.10-2022.01

縦隔腫瘍
50 症例
2019.02-2022.01

胃がん
82 症例
2018.08-2022.01

直腸がん
52 症例
2019.05-2022.01

心臓弁膜症
85 症例
2019.06-2022.01